

論文集掲載時は、このスタイルになりますが、作成にあたっては要領「2. 発表論文の体裁と書式」に則って下さい。

パーソンセンタードなリーダーシップ
——「内なる可能性」から生まれるイニシャティブ——

発表者名
(所属)

keyword：パーソンセンタード、リーダーシップ、フォーカシング

I はじめに
II パーソンセンタードなリーダーシップ

1. 材料
(1) 応答の分類
(2) 体験的応答の観点
III パーソンセンタードなリーダーシップを支えるもの

36行

IV 「フォーカシングとグループの会」の機能本
V 「ひとを育てる」ためのリーダーシップ

22字

図表1点おおよそのスペース
(本文約300字に相当)
(原稿分量に含む)

文献
Bridges, W. (1980) *Transitions: Making Sense of Life's Changes*. Addison-Wesley.
土井晶子・奥村和弘 (2009) 『『構成』・『非構成』の枠にとらわれない単発型エンカウンター・グループ実施の試み——『フォーカシングとグループの会』の実践から』『ヒューマンサイエンス』12, 31-39.
土井晶子・奥村和弘 (2010a) 「フォーカシングを支援ツールとする単発型エンカウンター・グループ・プログラムの開発に向けて」『神戸学院大学人文学部紀要』30, 191-204.
土井晶子・奥村和弘 (2010b) 「フォーカシング指向コミュニティ・モデルの可能性」『日本人間性心理学会第29回大会発表論文集』80-81.
増田弥生・金井壽宏 (2010) 『リーダーは自然体』光文社新書.
内田樹・春日武彦 (2005) 『健全な肉体に狂気は宿る』角川書店.

↑
「文献」
原稿分量に含む

44行